

伊豆の国市の環境施策の取り組みについて

1 CO₂排出量の状況

※別紙「自治体排出量カルテ①CO₂排出量の現状把握」参照

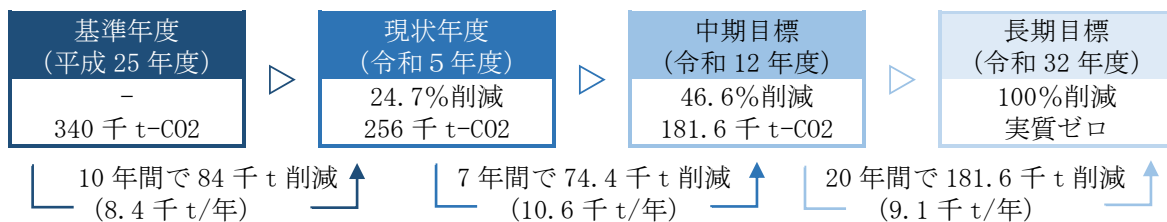
(1) 排出量の推移

自治体排出量カルテ（環境省）の最新データによると、伊豆の国市における令和5（2023）年度のCO₂排出量は256千t-CO₂となっています。

排出量の推移は、カーボンニュートラルの基準年度とされる平成25（2013）年度からは減少傾向にあります。令和3（2021）年度に増加に転じています。この増加については、コロナ禍における経済活動の縮小に伴い、令和元年度及び令和2年度の排出量が大きく減少していた状況から、経済活動が復活してきたことが影響しているものと考えられますが、令和4年度からは再び減少傾向にあります。

(2) 削減目標

伊豆の国市では、伊豆の国市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）において、温室効果ガスの排出量削減について、平成25（2013）年度の排出量を基準として、令和12（2030）年度に46.6%の削減、令和32（2050）年度には排出量実質ゼロのカーボンニュートラルを目指しています。



基準年度(H25)に対し現状(R5)では、10年間で84千tが削減され、年平均で8.4千tずつのCO₂排出量が削減されています。

現状年度(R5)に対して、中期目標(R12)の46.6%削減を達成するためには、7年間で74.4千t、年平均で10.6千tずつのCO₂排出量の削減が必要であり、目標達成には現状以上の削減取組が求められます。

(3) 国・県との比較

伊豆の国市におけるCO₂排出量は、国や県と比較し、産業部門の比率が少なく、運輸部門や家庭部門の比率が高くなっています。

2 市の補助事業 「新エネルギー機器等導入事業費補助金」

家庭部門や運輸部門からのCO₂排出量の削減に寄与する取り組みとして、市では「新エネルギー機器等導入事業費補助金」制度により、太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車等の購入に対する市民への補助を行っています。

(1) 補助制度の活用状況（補助申請件数）

	太陽光	設備容量 (kw)	蓄電池	HEMS	V2H	CEV	エネファーム
H22	56	245.69					1
H23	143	646.90					3
H24	159	777.58					3
H25	133	649.22					1
H26	138	677.10					6
H27	51	235.71					5
H28	68	354.43					
H29	48	246.76					
H30	46	239.75					
R3	29	173.52	22	13	0		1
R4	20	115.86	28	8	5		2
R5	48	331.13	55	17	1	14	2
R6	42	244.51	45	19	1	17	0
計	981	4,938.17	150	57	7	31	24

※令和3年度より、太陽光発電システムに蓄電池、HEMS、V2Hを補助対象に追加した制度を再開。令和5年度より、CEV（クリーンエネルギー自動車：電気自動車、プラグインハイブリット車、燃料電池自動車）を新規対象として追加。

(2) 令和8年度当初予算額

機器種別	新築（35件）		既築（36件）		申請件数・額		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
太陽光のみ	9件	540,000円	4件	240,000円	13件	780,000円	
太陽光+蓄電池	26件	2,860,000円	7件	770,000円	33件	3,630,000円	
蓄電池のみ	—	—円	25件	1,250,000円	25件	1,250,000円	
HEMS	11件	110,000円	8件	80,000円	19件	190,000円	
CEV	—				16件	800,000円	
V2H	—				1件	50,000円	
エネファーム	—				1件	50,000円	
	合計						6,750,000円

※過年度実績に基づき、今年度予算額を計上した。

3 再生可能エネルギー設備の導入状況・導入予定

(1) 導入状況

太陽熱を利用した施設は2施設、太陽光発電設備の設置施設は12施設となっています。

設備種類	設置年度	施設名	設備容量等
太陽熱利用	1999(平成11)年度	長岡温水プール	太陽熱集熱設備 (温水用)
	2009(平成21)年度	大仁中学校	OMソーラー (空気集熱式 ^パ ッソ ^ラ ソーラー)
太陽光発電 (自家消費)	2005(平成17)年度	富士美幼稚園	10kw
	2009(平成21)年度	長岡中学校	10kw
		菰山中学校	10kw
	2010(平成22)年度	市役所伊豆長岡庁舎	20kw
		田京幼稚園	5kw
		長岡幼稚園	5kw
	2012(平成24)年度	あゆみ保育園	5kw
	2013(平成25)年度	共和幼稚園	5kw
	2014(平成26)年度	福祉保健センター	5kw
	2015(平成28)年度	児童発達支援センター	5kw
	2024(令和6)年度 ※P P A方式 (設置運転事業者) 鈴与商事株式会社	大仁中学校	枚数 132枚 出力 415W/枚 容量計 54.78kw/式 想定発電量 62,943kwh/年
	2025(令和7)年度	市役所大仁庁舎	枚数 120枚 出力 415W/枚 容量計 49.80kw/式 想定発電量 ※算定中

(2) 導入予定

今後の太陽光発電設備の導入については、現在、次の施設への導入可能性を調査しています。

- ア アクシスかつらぎ
- イ 菰山反射炉ガイダンスセンター
- ウ 伊豆の国市斎場(椰の杜)

※P P A方式とは

第三者所有型モデルと呼ばれ、発電事業者が事業者の負担により公共施設に太陽光発電設備を設置し、運転・維持管理を行います。市は発電され施設に供給された電力に対しての電気代を支払いません。(令和7年5月から供用開始)

(大仁中学校の契約では、契約期間を20年間とし、期間満了後、太陽光発電設備は市に無償譲渡されます。)



大仁中学校(屋上)の太陽光パネル

4 再生可能エネルギーの利用促進

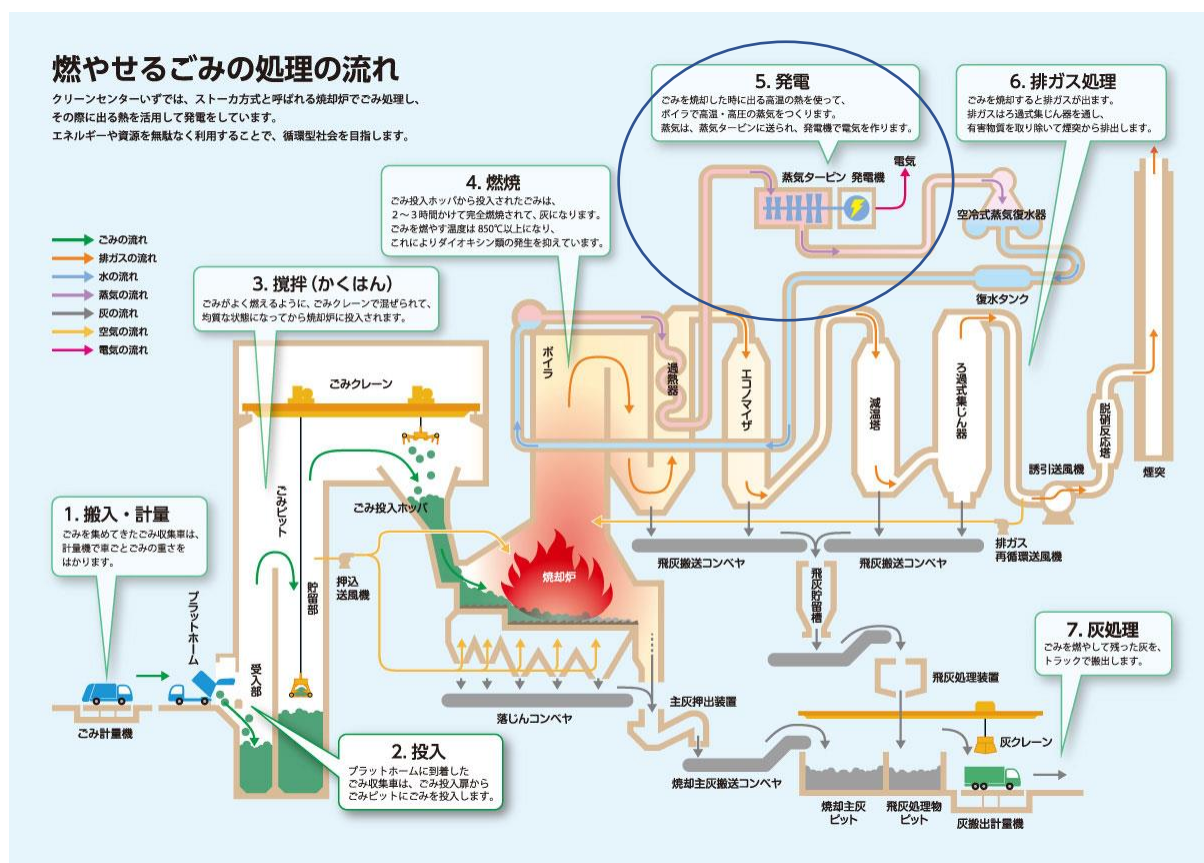
(1) クリーンセンターいず

令和4年12月に竣工し、令和5年1月に稼働を開始したクリーンセンターいず（伊豆市・伊豆の国市広域ごみ焼却施設）にて、ごみを燃やして発生する熱を利用した発電を行っており、その発電電力を施設にて自家消費する他、余剰電力については伊豆市、伊豆の国市の公共施設にも活用しています。今後も余剰電力の状況を鑑み、クリーンセンターいずの発電電力への切替を実施していきます。

(2) 伊豆の国市公共施設への発電電力の供給状況

供給開始	供給施設	供給実績
令和5年4月～	市内48施設（令和6年度） （消防団詰所、放課後児童教室、公園電灯等の低圧電力施設が主な施設）	408,746kwh（R6.4～R7.3） 市公共施設全体使用量の約4.4%

※ 伊豆の国市（公共施設）全体の電力使用量：9,254,442 kwh（令和6年度）



(3) 公共施設の電力契約

高圧電力の41施設（庁舎、学校、幼稚園・保育園、水道設備等）については、入札（電力オークション）により電力事業者を決定しています。

令和7年度における高圧電力施設における電力調達については、調達電力に占める再生可能エネルギー電気の割合（再エネ率）の条件を20%以上とした業者選定を行ったところ、再エネ率100%の電力を供給する事業者と契約を締結しました。

5 環境学習・環境教育

環境政策課では、実際の体験等を通じた環境教育活動として、狩野川水生生物観察会、アース・キッズチャレンジ、夏休み環境教室、放課後児童教室での環境講座、花育活動等に取り組んでいます。

(1) 狩野川水生生物観察会

梅雨入り前の6月上旬に小学生を対象に、狩野川での水生生物観察会を開催しています。令和8年度は6月6日（土）に開催予定です。

実際に川の中に入り、川の水質環境の基準となる「指標生物」を捕まえて、その生息状況（捕獲数）から水質の判定を行います。

毎年、同じ場所（2箇所）での開催により、継続的な水質環境の把握も行っています。



水質	指標生物	1班	2班	3班	4班	5班	合計	判定
I 優	1. 水質指標	7	2	1	2	3	15	●
	2. ヒラタオビシジミ類					3	3	○
	3. フサトビシジミ類							
	4. アシナガシジミ類							
	5. アシナガシジミ類							
	6. アシナガシジミ類							
	7. アシナガシジミ類							
	8. アシナガシジミ類	12					12	○
	9. アシナガシジミ類							
	10. アシナガシジミ類							
II 良	1. ヒラタオビシジミ類							
	2. ヒラタオビシジミ類							
	3. ヒラタオビシジミ類	14	2	1			17	●
	4. ヒラタオビシジミ類							
	5. ヒラタオビシジミ類							
	6. ヒラタオビシジミ類							
	7. ヒラタオビシジミ類							
	8. ヒラタオビシジミ類							
	9. ヒラタオビシジミ類							
	10. ヒラタオビシジミ類							

(2) アース・キッズチャレンジ

令和7年度は、大仁小学校5年生・71人を対象に、「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」に講師を依頼し、社会科や総合的な学習の時間などに関連づけた体験学習を行いました。

「アース・キッズチャレンジ」では、家庭において事前課題をこなしてもらい、キックオフイベント（講義と体験学習）を学校で実施、その後、家庭で講義及び体験学習で学んだことを実践していきます。

令和8年度は菰山小学校で11月20日（金）、長岡北小学校で11月26日（木）に5年生を対象に実施します。



(3) 夏休み環境教室

令和7年度は、小学生4年生以下とその保護者を対象に、「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」に講師を依頼し、楽しみながら環境問題を考えるきっかけ作りとして、地球温暖化や再生可能エネルギー、家庭での省エネ等の講義を受けた後、空のペットボトルを使った「ソーラーランタン」を制作する体験教室に14組（こども14人、保護者15人）の参加がありました。

令和8年度は7月25日（土）に、地元企業との包括連携協定内の環境啓発の一環として、無償により環境教室を実施します。



(4) 市内小学校の放課後児童教室での環境学習講座

令和7年度からの新規事業として、次世代を担うこどもたちへの環境に関する知識の取得や地球温暖化問題への意識付けを目的として、「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」に講師を依頼し、地球温暖化や再生可能エネルギー、家庭での省エネ等の講義後、カード遊びを通じて楽しみながら地球温暖化について学び、その学びを日常生活の中で行動に移してもらうことを狙いとして「ストップ！温暖化トラップ」を使い、「しちならべ」をグループに分かれて行いました。市内6校7教室、172名の参加がありました。

令和8年度も継続して実施予定です。



(5) 花育

当課が事務局となっている「花咲く伊豆の国推進協議会」と保育園・幼稚園、特別支援学校との交流活動の中で、花壇等への花の植栽を通じた花育交流を行い、子ども達との自然との触れ合いによる情操教育につながる活動を行っています。

令和8年度も継続して実施予定です。



6 資源循環・廃棄物減量

(1) 資源循環センター農土香

安心・安全・健康のまちづくり事業として、市内の未利用バイオマスを活用した良質な有機堆肥を製造し、市内農家等で活用してもらい、循環型地産地消を広め、安全で安心な農作物を市民や観光客に提供し、それを食することで健康につなげることを目的として建設されました。(竣工：平成22年10月)



[混合槽] ⇒ [1次堆積発酵槽] ⇒ [2次ローター発酵槽] [剪定枝チッパー車]

(2) 原料調達と堆肥製造販売の状況

(単位：t)

	原料調達			堆肥	
	食品残渣	剪定枝	牛ふん	製造	販売
令和2年度	253.615	142.600	963.501	269.870	336.930
令和3年度	271.270	175.880	953.270	377.360	316.805
令和4年度	293.352	180.860	832.020	313.225	284.630
令和5年度	287.270	191.000	668.345	323.395	287.150
令和6年度	272.200	145.460	748.850	303.900	325.600
令和7年度	245.350	177.200	837.145	336.260	303.785

<参考> 市のごみ処理量

(単位：t)

	燃やせるごみ	資源ごみ	埋立ごみ	合計
令和2年度	11,703	4,167	238	16,108
令和3年度	11,830	4,051	222	16,103
令和4年度	12,618	3,627	208	16,453
令和5年度	13,033	2,595	184	15,812
令和6年度	13,214	2,470	177	15,861

「農土香」で製造される堆肥は、食品残渣や剪定枝を原料としており、燃やせるごみの削減、焼却に伴うCO₂排出量の削減による地球温暖化防止、ごみの資源化につながる役割も担っています。

令和6年度の実績値で、食品残渣と剪定枝の合計は約418tとなりますが、燃やせるごみとしては約3.1%の削減、資源ごみとしては約16.9%の増加につながっています。



完熟たい肥「農土香」

販売価格

- ・袋売り 333円/10kg入(税抜)
- ・バラ売り 500円/100kg当たり(税込：)